

6月ごろから両足首のむくみがひどくなり、正座もつらく触るのも厳しいです。血液検査で「寒冷凝集素症」と言われましたが、関連はありますか。寒冷凝集素症はどんな病気でしょうか。どのような治療方法があるのでしょうか。治療費も高額と聞きます。(60歳、女性)

寒冷凝集素症



平井孝一医師

人間の体の約60%は水分でできています。水分は均一に存在しているわけではなく、細胞内と細胞外に存在する水分に分け

られます。細胞内の水分は肌のハリとして認識できるものとなり、細胞外の水分は血液や、組織と組織の間を質液となりま

背景にある疾患調べ、治療を

腎疾患(ネフローゼ症候群)、甲状腺機能低下症ですが、その他にも悪性腫瘍、手術や外傷に伴うリンパ管閉塞、深部静脈血栓症なども原因になります。浮腫そのものや痛みはあまり問題とはされず、浮腫の背景にある疾患が重要視されます。

「自己免疫性溶血性貧血」の一種で、寒冷時に貧血が悪化した末梢循環障害が起きたりする疾患ですが、一般的に浮腫の有無で重症度を判断することはありません。しかし貧血は心不全の原因となり得ます。慢性の貧血に伴う心不全の兆候の一つ

として浮腫が存在しているとも考えられますが、その場合は心不全の治療を行います。もう一つの考え方としては血栓症に伴う浮腫がある場合で、寒冷凝集素症に伴う血栓症の報告はいくつかありますが、対応策は寒冷刺激を受けやすい、すなわちなるべく体を冷や

さないこととされています。高額な治療とは分子標的治療薬「スチムリマブ」によるものと思えますが、これは溶血性貧血に伴う貧血や血栓症をうまくコントロールできていないと認められた場合に使用されま

激を受けないようにするだけでは寒冷凝集素症をコントロールできていないと判断するかどうかは鍵になります。(兵庫県内科医会、平井孝一(加古川市、平井内科クリニック)院長) ◆第1、3、4日曜に掲載します。

す。今回の症状が貧血や血栓症によるものであり、寒冷刺